



STAT(スタット)画像報告 ～診療放射線技師の新たな取り組み～

はじめに：病院での画像検査が持つ本当の役割

病院を受診した際、レントゲンや CT、MRI といった画像検査を受けたことがある方は多いことでしょう。これらの検査は、医師が皆さんの体の内部を視覚的に確認し、病気の正確な診断を下したり、今後の治療方針を決定したりするために欠かせない情報を得るためのものです。一般的にこうした画像検査を担当するのは、診療放射線技師という職種です。多くの方は、技師の仕事“検査機器を操作してきれいな写真を撮る人”というイメージで捉えていらっしゃるかもしれませんが、私たちの役割は単に撮影することだけにとどまりません。私たちは、撮影した画像の中に患者さんの生命に関わるような緊急性が高い異常が隠れていないかをその場で確認し、一刻も早く医師に伝えるという重要な役割も担っています。この取り組みを、私たちは医療用語で『STAT(スタット)画像報告』と呼んでいます。



STAT(スタット)という言葉の意味

STAT という言葉は一般の方には馴染みが薄いかもかもしれませんが、医療現場では非常に重要な意味を持ちます。この言葉の語源はラテン語で“直ちに”を意味する“statim”という単語に由来しています。つまり、STAT 画像とは“直ちに医師の確認と判断が必要な画像”を意味します。私たちは撮影の最中や直後にモニターをチェックし、迅速な対応が必要な異常を見つけた場合には、通常の報告ルート(検査後に時間をかけてレポートを作成する流れ)を待たずに、即座に担当医師へ連絡を入れる体制を整えています。

なぜスピードが重要なのか

なぜ、これほど迅速な報告が求められるのでしょうか。それは、治療を開始するまでの一分一秒の差が、その後の回復や生死を大きく左右する病気が存在するからです。具体的には、以下のような病気が挙げられます。

- ・脳梗塞・脳出血：脳の血管が詰まったり破れたりする病気で、迅速な処置が後遺症の軽減に直結します。
- ・大動脈解離：体の中で最も太い血管の壁が裂ける非常に危険な状態です。
- ・腹部大動脈瘤破裂：お腹の大動脈のコブが破裂し、大出血を起こしている非常に危険な状態です。
- ・消化管穿孔：胃や腸に穴が開き、臓器を覆う腹膜に激しい炎症を引き起こしている重篤な状態です。

これらの病気は、発見が早ければ早いほど適切な治療によって命を守れる可能性が高くなります。技師が画像から兆候をいち早く察知することは、チーム医療全体が救命に向けて動き出すための最初の一步となるのです。

診療放射線技師が果たす「第一の目」としての役割

通常、画像は放射線科読影医という専門医が診断し、その結果が主治医に届けられます。しかし、夜間や休日など、読影医が病院内に不在となる時間帯も少なくありません。そのような状況で、最初に画像を目にするのは診療放射線技師です。私たちは日頃から撮影装置の仕組みを理解し、画像が正しく送信されているかの確認や、過去の診断レポートとの比較も行っています。このように専門知識を持った技師が“緊急性が高い”と初期判断を下し、主治医へ直接報告を行うことで、夜間や休日であっても昼間と変わらないスピードで治療へ繋げることが可能になります。

正しい理解のために: 診断と報告の役割分担

ここで大切な点があります。それは、“最終的な診断を下すのは、あくまでも医師である”ということです。技師が「異常がある可能性がある」と医師に伝えるのは、診断行為そのものではありません。技師の役割は、画像の中の異常にいち早く気づき、その情報を医師に確実かつ迅速に伝えることにあります。このようなチーム医療体制があるからこそ、検査から治療開始までの時間を劇的に短縮し、患者さんの安全を守ることができるのです。

『STAT 画像報告』がもたらす安心感

この取り組みは、患者さんにとって大きなメリットがあります。第一に、重い病気の早期発見と早期治療です。時間との勝負になる病気において、治療のチャンスを逃さないスピード感は命を守る支えとなります。第二に、心理的な安心感です。“異常があればすぐに医師が対応できる体制”が整っていると知ることで、検査後の不安を和らげることができます。第三に、医療全体の質の向上です。技師と医師が情報を共有し迅速に対応する体制は、より安全で確実な医療の提供に繋がります。

おわりに: 患者さんの安全のために

『STAT画像報告』という仕組みは、現在の日本においてはまだ十分に浸透していない言葉かもしれません。しかし、一人でも多くの患者さんの命と健康を守るために、今、多くの医療現場で注目を集めています。私たち診療放射線技師は、皆さんが安心して検査を受けられるよう、日々技術を磨いています。もし検査中に不安なことがあれば、どうぞお気軽に私たち技師にお声がけください。私たちはチーム医療の一員として、最善を尽くしていきます。

～ STAT 画像報告のながれ～

